杏林大学総合政策部　実務経験教員による授業科目一覧

No	科目名	単位数	学科	課程	科目担当者	実務経験内容	実務経験内容に基づく授業内容
1	金融論	2	総合政策	新・旧	大川　昌利	日本銀行で政策・業務・理論に亘る中央銀行実務に従事。	金融の理論的課題を取り扱うのは勿論であるが、それが金融機関や政府・中央銀行等の仕事に実際にどのように活用されているのかにも十分に目配りして、より経済社会の実情を踏まえた授業内容を指向。テーマに応じ、各種統計類や金融機関の財務諸表等を実際に用いつつ授業を展開する。
2	日本経済論	2	総合政策	新・旧	大川　昌利	日本銀行で政策・業務・理論に亘る中央銀行実務に従事。	日本経済の諸側面につき各種調査資料や統計類を参照しながら、その特質を説明するが、その際も個々の調査・統計類の性格や利用上の留意点についても併せて解説し、学生が日本経済を理解するための基礎を提供。また、日本経済の諸側面をマクロとミクロ、実体経済と金融、国内経済と海外経済といった多角的・立体的な観点から分析することで、受講者による日本経済理解に役立てたい。
3	経済政策論	2	企業経営	新・旧	小田　信之	中央銀行における経済調査、金融政策運営業務、金融システム関連業務など	中央銀行において金融政策運営に関係する業務を行った経験や、各種の経済問題について調査・研究を行った経験を踏まえ、現実の経済政策をどのように評価すれば良いか、改善できる可能性があるかといった点を実践的に議論する。
4	Monetary Policy and Financial System	2	共通	新・旧	小田　信之	中央銀行における経済調査、金融政策運営業務、金融システム関連業務など	中央銀行において金融政策運営や金融システムの秩序維持に関係する業務を行った経験を踏まえ、現実の金融政策および金融システム対応についてどのように評価すれば良いか、改善できる可能性があるかといった点を実践的に議論する。
5	社会福祉学	2	総合政策	旧	岡村　裕	社会福祉士としての相談援助業務	社会福祉学では、現代日本の社会福祉制度が抱える諸問題を受講生が正しく理解し、その解決のあり方を考えることを目標としている。近年の日本においては貧困問題への対処策の一つである生活保護制度が様々な意味で問題視されている。本講義では、教員の社会福祉士としての相談援助経験に基づき、生活保護の現場で実際に生じている問題を正しく理解できる事例を提示し、その上でより現実的な貧困問題への対応策を議論している。
6	社会福祉政策論	2	総合政策	新・旧	岡村　裕	社会福祉士としての相談援助業務	社会福祉政策論では、福祉資源の分配のあり方を受講生がより深く考えることを目標としている。福祉資源の分配を考えることは、人々がよい暮らしを送るために必要なサービスの負担を誰に求め誰にサービスを提供するべきが、またそれはどこまで強制できるのか、を考えることに等しい。本講義では教員のソーシャルワーカーとしての現場経験と思索に基づく分配論を提示しながら、受講生に各人の分配論を哲学する機会を提供している。
7	販売戦略	2	企業経営	新・旧	加藤　拓	1998-2000 日本マクドナルド株式会社の出店調査（店舗商圏分析、市場調査、顧客リサーチ、エリア戦略立案の支援など）を株式会社マーケティングセンターの営業部門にて担当、2000-2010 スターバクスコーヒージャパン株式会社・店舗開発本部にて出店戦略の立案、市場計画の策定、出店・退店判断、売上予測、新店の業績管理などを担当	マーケティングリサーチを企画からレポーティングまで担当してきた経験を活かし、販売戦略を立案するための消費者調査の一連の流れを説明するだけでなく、戦略的な示唆を与えられるようなリサーチ・プロジェクトを回せるように実習・演習も行う。
8	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ総論	2	企業経営	新・旧	加藤　拓	1998-2000 日本マクドナルド株式会社の出店調査（店舗商圏分析、市場調査、顧客リサーチ、エリア戦略立案の支援など）を株式会社マーケティングセンターの営業部門にて担当、2000-2010 スターバクスコーヒージャパン株式会社・店舗開発本部にて出店戦略の立案、市場計画の策定、出店・退店判断、売上予測、新店の業績管理などを担当	マーケティングを教科書的に説明するだけでなく、企業側の考え方、実務との関連を強調して授業を行う。
9	流通論	2	企業経営	新・旧	加藤　拓	1998-2000 日本マクドナルド株式会社の出店調査（店舗商圏分析、市場調査、顧客リサーチ、エリア戦略立案の支援など）を株式会社マーケティングセンターの営業部門にて担当、2000-2010 スターバクスコーヒージャパン株式会社・店舗開発本部にて出店戦略の立案、市場計画の策定、出店・退店判断、売上予測、新店の業績管理などを担当	流通業だけでなくサービス業、最近では製造業、インターネット通販の企業も、自社の店舗を出店して商品やサービスを流通させようとする動きがあるので、出店判断に必要な事柄を協調する。
10	Maketing Strategy	2	共通	新・旧	加藤　拓	1998-2000 日本マクドナルド株式会社の出店調査（店舗商圏分析、市場調査、顧客リサーチ、エリア戦略立案の支援など）を株式会社マーケティングセンターの営業部門にて担当、2000-2010 スターバクスコーヒージャパン株式会社・店舗開発本部にて出店戦略の立案、市場計画の策定、出店・退店判断、売上予測、新店の業績管理などを担当	マーケティングを教科書的に説明するだけでなく、企業側の考え方、実務との関連を強調して授業を行う。
11	出店戦略	2	企業経営	新・旧	加藤　拓	1998-2000 日本マクドナルド株式会社の出店調査（店舗商圏分析、市場調査、顧客リサーチ、エリア戦略立案の支援など）を株式会社マーケティングセンターの営業部門にて担当、2000-2010 スターバクスコーヒージャパン株式会社・店舗開発本部にて出店戦略の立案、市場計画の策定、出店・退店判断、売上予測、新店の業績管理などを担当	チェーン企業の出店戦略の立て方、店舗網の最適化の方法の理論的な側面を説明するとともに、チェーン企業の店舗網の問題点が指摘できるような視点を養うことを目的とする。

杏林大学総合政策部　実務経験教員による授業科目一覧

NO	科目名	単位数	学科	課程	科目担当者	実務経験内容	実務経験内容に基づく授業内容
12	社会と大学Ⅱ （SDGs）	2	共通	新・旧	川村　真理	国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）における人権リエゾン業務および世界食糧計画（WFP）における広報業務。	社会と大学 II（SDGs）はオムニバス形式で行われているが、授業全体の構成において、実務経験から得た知見、即ち人権の考え方が SDGs に通底していることを反映した内容にしている。担当回については、国連全体のしくみや SDGs 策定の経緯やその内容を概説しているが、その中で移民難民の例として紹介しつつ解説を行っている。
13	国際機構論	2	総合政策	新・旧	川村　真理	国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）における人権リエゾン業務および世界食糧計画（WFP）における広報業務。	国際機構論では、国際機構の歴史や考え方とともに、特に国連の制度や活動に焦点を当てた授業内容となっている。国連総会の補助機関に係る授業において、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）および世界食糧計画（WFP）を例に挙げて、その機構上の特徴および活動内容について詳細に解説をしている。UNHCR での実務において、人権委員会（当時）等への出席において経験した国際機構における合意の在り方等を示し、より深い理解を導くように講義を進めている。
14	国際法Ⅰ	2	総合政策	新・旧	川村　真理	国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）における人権リエゾン業務。法務省難民審査参与員として難民認定行政への参画、難民認定に係るモニタリング委員、収容送還専門部会委員を歴任。	国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）において、UNHCR 執行委員会結論の起草にかかる調査研究を行った。また、人権理事会（当時）の決議採択の現場にも出席した経験した。国際機関の決議等の採択や法的効果の議論にこれらの経験を活かして授業を行っている。また、難民審査参与員の経験や収容送還専門部会での経験を踏まえ、国際法諸文書と国内法の関係についての理解を深めるよう努めている。
15	国際法Ⅱ	2	総合政策	新・旧	川村　真理	国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）における人権リエゾン業務。法務省難民審査参与員として難民認定行政への参画、難民認定に係るモニタリング委員、収容送還専門部会委員等を歴任。	人権法、難民法、人道法の授業において、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）での経験を踏まえ、各人権条約体の役割や難民条約と人権条約の関係、人道法と難民法や人権法の関係について理解を深めるような工夫をしている。また、外国人の地位や出入国管理についての講義においては、法務省、出入国在留管理庁、入管法の理解を深めるために実務経験を踏まえて議論を行っている。
16	国際協力論	2	総合政策	新・旧	川村　真理	国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）における人権リエゾン業務および世界食糧計画（WFP）における広報業務。法務省難民審査参与員として難民認定行政への参画、難民認定に係るモニタリング委員、収容送還専門部会委員を歴任。	国際協力論においては、難民移民問題にかかわる他国への国際協力、移民難民受入れを具体的な事例として取り上げ国際協力の在り方を議論することとしている。その中で、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）、世界食糧計画（WFP）での経験から国際機関を通じた国際協力の在り方の理解を深めるような議論を行っている。また、移民難民の受け入れについては、難民審査参与員や収容送還専門部会委員等の経験を踏まえ、外国人の受け入れや共生と国際協力の在り方を深く理解するように努めている。
17	ライフ・プランニングⅠ	2	共通	新・旧	北田　真理	株式会社ロレコス、日本ロレアル株式会社にて、営業・プロダクトマネージャー（ヘアカラー）を担当。商品開発、広報、販売 PR 等、担当商品の全過程を管理。	自身の就職活動や企業での実務経験を踏まえ、セルフ・ブランディングに向けた学生時代の過ごし方を学生に意識させるようにしている。初年次の夏季休暇から始まり、1～2年次の長期スパンでの計画を意識させ、初年次学修のモチベーションを高める工夫をしている。計画・実行・評価・改善のプロセスを授業の中に取り入れ、振り返りの習慣を身につけさせている。
18	インターンシップⅠ	2	共通	新・旧	北田　真理	株式会社ロレコス、日本ロレアル株式会社にて、営業・プロダクトマネージャー（ヘアカラー）を担当。商品開発、広報、販売 PR 等、担当商品の全過程を管理。	自身の就職活動や新卒時の経験を踏まえ、企業で求められる社会人スキルを身につけさせることと、広く業界の繋がりを理解させることを意識して授業を行っている。
19	インターンシップⅡ	2	共通	新・旧	北田　真理	株式会社ロレコス、日本ロレアル株式会社にて、営業・プロダクトマネージャー（ヘアカラー）を担当。商品開発、広報、販売 PR 等、担当商品の全過程を管理。	自身の就職活動や新卒時の経験を踏まえ、企業で求められる社会人スキルを身につけさせることと、広く業界の繋がりを理解させることを意識して授業を行っている。

合計単位数							
	54	総合政策	新課程(共通)	12 単位	新課程(専門)	14 単位
			旧課程(共通)	12 単位	旧課程(専門)	16 単位
	44	企業経営	新課程(共通)	12 単位	新課程(専門)	10 単位
			旧課程(共通)	12 単位	旧課程(専門)	10 単位